

2022年度
A O入試＜I 期＞
2021年10月24日実施分

問題と解答

国語

国語

I 次の文章を読んで、後の問い（問1～7）に答えなさい。

熱帯雨林問題は、保護か伐採か、あるいは保全か開発かという対立的な図式としてイメージされることが多い。とりわけ一九九二年六月の地球サミット以来、北側先進国と南側発展途上国との南北問題という構図で語られる傾向にある。しかし、現在わたしたちが直面している熱帯雨林の危機は、人類全体の課題として重くのしかかっており、このような二項対立を越えた解決の道を模索する必要がある。

まず強調しなければならないのは、目先の利害を越えて、熱帯雨林の存続がすべての人々にとって価値が高いということである。地球レベルあるいは地域レベルでの、ある規模の熱帯雨林の存在は、これまで述べてきたように、①地域文化、②地球環境、③地域環境、④遺伝子資源という四つの観点、いいかえれば熱帯雨林の人間社会への生態系サービスの面から必要欠くべからざるものである。

熱帯雨林は一度伐採すると、植林は不可能であると信じられているが、東南アジアでは一〇〇年も前から有用材の植林が試みられており、一部の樹種では成功している。立地条件などにもよるが、人手をかけて種子あるいは苗から丹念に育てていけば、多くの樹種で植林が可能になるのではないかと思われる。高い空中湿度を保った温室での挿し木からの育苗や、成長点培養などのバイオテクノロジーを使った技術革新も着実にすすんでいる。ただ、立木伐採目的では、とても採算ベースに乗らないほどのコストがかかりそうだということも予測されてきた。ここでは、政府や国際機関の大規模な財政的な支援がのぞまれる。

熱帯雨林を構成する樹種は、送粉や種子散布を動物に、あるいは栄養セツしゅを微生物に依存していて、複雑な生物間ネットワークの中に生きているということは、これまで述べてきたとおりである。ただ植林が成功しただけでは、熱帯雨林が再生した

とはいいがたい。動物や微生物が住んでいて、さまざまな相互作用をおよぼしながら存続してこそ、生きた森林の姿であり、そうした環境の中だけで、熱帯雨林は自らを更新し、そこで生きる生物は進化をつづけることができるのである。

熱帯雨林のもつさまざまな生態系サービスは、送粉、種子散布、分解リサイクルなど、熱帯雨林を構成する生物間ネットワークが**つむぎだす生態系内サービス**によって維持されている。この意味で、動物や微生物を含めた複雑な生物群集を**さいゲン**し、彼らの**進化の舞台**を存続させてはじめて、熱帯雨林の**ふくゲン**といえる。①、これら重要な生物間相互作用に関する研究は、まだまだ未知の領域が多く残されている。

数百世代にわたって熱帯雨林に住み、狩猟採集を生活の糧としてきた人々の、森林に関する知識には驚くべきものがある。急速に失われつつある彼らの知識や知恵を体系的に記録する仕事も、有用植物の**もつセンざい的な資源**としての価値を明らかにし、薬用植物の栽培などの森林の機能にあまり影響を与えず、採算ベースにのりやすい産業をおこすことにつながる。

これまでは熱帯雨林を伐採することで産業をおこしていたが、二一世紀には環境問題の具体的な解決策の一つとして、熱帯雨林を再生、**ふくゲン**することが一大産業となっていくのかもしれない。地球環境、地域環境、地域文化、**遺伝子資源**の観点から、どこにどのくらいの面積で、どんな動物相、植物相の熱帯雨林を**ふくゲン**するのが適切なのかを科学的な根拠で算出し、それを実現する熱帯雨林工学がもたられてくるのだ。

いま、緊急に必要なことは、現在残っている熱帯雨林に十分な保護体制を確立するとともに、現存の熱帯雨林での複雑な生物間相互作用や人々とのかかわりを解明して、将来の熱帯雨林工学のめざすゴールとして提示することである。こうした熱帯雨林の基礎研究と、植林や持続的利用に有効な知識や技術の**しゅうヤク**と開発、それらをひろく支える世論と政策が、熱帯雨林をよみがえらせるには重要である。

これらの過程は、熱帯雨林破壊の元凶あるいは犠牲者とされている焼畑耕作や狩猟採集、あるいは林業を通して熱帯雨林と深く関わって暮らしているすべての人々の知識と経験を生かし、夢と自信をとりもどしてもらえるように方向づけられなければならない

らないということを、とくに強調したい。

これまでの現代文明は、自然と対決し、自然を征服していく文明であったかもしれない。熱帯雨林の再生に向けられるべき^④ポ
ウ^⑤だいなエネルギーは、自然と協調し、共存するという明確な意志をもった新しい文明の創造につながると考えたい。地上七〇
mの林冠に立って、風にそよぐ梢^{こずえ}のざわめきと鳥たちの声に耳を傾けると、そこにあるのは^⑥としての生物ではない。わ
たしたちとともに、この地球に育まれた仲間なのである。

（湯本貴和「熱帯雨林」を一部改変した）

（注）成長点培養＝植物の茎や根の成長点またはそれを含む組織の微小片を切り取り無菌的に培養すること。

問
1

太線部㉖㉗㉘の熟語のカタカナで表記された部分に使用する漢字を、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選
びなさい。

㉖ センざい
④
5 4 3 2 1
専 潜 先 選 線

㉗ セツしゅ
①
5 4 3 2 1
拙 切 設 撰 接

㉘ しゅうやく
⑤
5 4 3 2 1
約 益 訳 薬 役

① さいげん
②
5 4 3 2 1
限 現 減 元 言

㉙ ボウだい
⑥
5 4 3 2 1
望 棒 防 亡 膨

㉚ ふくげん
③
5 4 3 2 1
源 限 現 元 言

問2 傍線部①と②の文中における意味を、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

① 遺伝子資源

⑦

- | | | | | |
|---------------------|--------------------|------------------|-----------------|-------------------|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 植物に特異な生命活動を担う遺伝子のこと | 潜在的に有用な遺伝子を含む生物のこと | 動物の遺伝子の潜在的な資源のこと | 植物の成長に有用な遺伝子のこと | 体外受精において必要な遺伝子のこと |

② 生態系サービス

⑧

- | | | | | |
|------------------|-----------------|-------------------|----------------|---------------------|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 果樹栽培などの生計向上支援のこと | 栄養に富む餌を家畜に与えること | 豊かな生態系の中にある販売所のこと | 生態系から得られる恵みのこと | 生態系の恵みを安全に家庭へ宅配すること |

問 3 空欄①に入れるのに最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

⑨

1 それゆえ

2 もしくは

3 しかし

4 さて

5 さらに

問 4 空欄⑩に入れるのに最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

⑩

1 動植物

2 食物

3 資源

4 美

5 生態系

問5

波線部①「目先の利害を越えて、熱帯雨林の存続がすべての人々にとって価値が高い」とあるが、こうした「存続」はどのようにすれば可能と筆者は考えているか。最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

⑪

- 1 世界各国が協力して植林活動を持続的に行うこと
- 2 植林や熱帯雨林の持続的利用に必要な基礎研究や技術の開発を行うこと
- 3 熱帯雨林における環境破壊を調査し、原因を突き止めること
- 4 熱帯雨林の生物間相互作用を解明し、研究者が共有しあうこと
- 5 熱帯雨林の存続のための政策を採算ベースの観点なしに推進すること

問6

波線部②「進化の舞台」とあるが、それはどういうものか。その説明として最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

⑫

- 1 多様な生物が生息し、活動している熱帯雨林の土壌
- 2 熱帯雨林をつくり出している生物間ネットワーク
- 3 焼畑耕作や狩猟採集の場としての熱帯雨林
- 4 未開の地が多く残された生物の宝庫としての熱帯雨林
- 5 熱帯雨林を構成する多種多様な樹種のネットワーク

問7

本文に合致する内容として、最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

13

- 1 北側先進国は南側発展途上国の熱帯雨林の存続のために資金援助をすべきである。
- 2 経済活動や産業を全て度外視してこそ、熱帯雨林の再生や存続は可能になるのである。
- 3 熱帯雨林の環境問題は、北側先進国が責任を負うべき問題である。
- 4 熱帯雨林の基礎研究こそが、熱帯雨林をよみがえらせるには最も重要である。
- 5 熱帯雨林に関わって暮らす人々の伝統的な知識もまた、産業の創出に結びつくのである。

Ⅱ 後の問い（問1と問2）に答えなさい。

問1 次の四字熟語④と⑤の空欄に入れる漢字を、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

意味

④ □越同舟

仲の悪い者同士が同じ場所や境遇にいること

5 4 3 2 1
互 期 呉 御 誤

⑤ □鏡止水

邪念がなく、落ち着いた心境のこと

5 4 3 2 1
命 明 鳴 銘 名

問2 次の慣用句①と②の意味としてもっとも適当なものを、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

① 一翼を担う

①⑥

- 1 骨の折れる仕事を自分から受け持つこと
- 2 重要な役割を受け持ち、責任もって遂行すること
- 3 仕事の半分を自分から受け持ち、遂行すること
- 4 副操縦士が機長の操縦を引継ぎ、任務を遂行すること
- 5 生計の一端を担い、家計を支えること

② 命あつての物種

①⑦

- 1 奇跡的に命を救われること
- 2 何事も命あつてできることで、死んでは何にもならない
- 3 植物の生命もかけがえのないものであり、おろそかにしてはならない
- 4 生かされていることに感謝の気持ちをもつこと
- 5 発芽にいたらない種も立派な価値をもつということ

2022年度 AO入試＜I期＞解答 10月24日実施分

国語	
解答番号	解答
①	2
②	4
③	2
④	4
⑤	5
⑥	1
⑦	4
⑧	2
⑨	3
⑩	3
⑪	2
⑫	2
⑬	5
⑭	3
⑮	4
⑯	2
⑰	2